

人口減少時代の浮揚策、探る

静岡県中部未来懇話会 平成26年度臨時社員総会



27年度事業計画など承認

中部地域
経営会議
起業・創業支援の経過報告

一般社団法人・静岡県中

部未来懇話会の平成26年度臨時社員総会が3月17日、静岡市のホテルセンチュリー静岡で開かれた。正会員、特別会員、賛助会員合わせて約120人が出席し、27年度事業計画などを

原案通り承認した。

事業計画の柱となる年間調査研究テーマは「人口減少時代、地域の人材力で飛躍する」。今や避けて通れない人口減少を踏まえつつ、アベノミクスの恩恵をさほど受けていない地方、特に県中部地域の再生に向け、飛躍のカギを握る企業家、地域リーダーの在るべき姿について議論を深める。春（6月）と秋（10月ごろ）の2回、シンポジウムを開催し、基調講演とパネル討論を通じて討議する。

議事ではこのほか、27年度収支予算案も了承した。



会員交流会に懇談の輪

総会、記念時局講演会の後、会場を変えて会員親睦交流会が開かれた。

多くの会員が参加し、中部地域を取り巻く経済環境の変化や、国内外の政治状況などについて幅広く意見を交わした。

また、当懇話会の提言に基づいて設置され、3年目を迎えた「中部地域経営会議」の経過報告も行われた。それによると、前年度までの

担当者らで構成するプロジェクト会議で報告書作成に向けて検討を重ねている。

「広域観光の推進」に代わり、本年度からは「起業・創業支援」策を研究テーマに設定。現在、専門家らによるワーキンググループと

総会后、神田外語大教授の興梠一郎氏による記念時局講演会「巨大国家・中国の現状と課題、そして日中関係」が行われた。

各市町、商工会議所の企画

（4〜5ページに講演抄録）